

笛吹市 議会だより

令和3年7月23日発行

2021 Vol.67



政務活動費・議長交際費の公開 ②

委員会レポート ⑭

提出案件一覧表 ⑥

請願審査 ⑰

質疑および一般質問 ⑦

市民リレートーク/編集後記 ⑳

令和2年度政務活動費の収支状況

(各会派の収支報告書に基づき掲載)

政務活動費は、地方自治法に基づき、笛吹市議会政務活動費の交付に関する条例および施行規則で定められており、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派および議員に対し交付されます。なお、笛吹市議会では収支報告として、すべての領収書を添付することとなっています。

- 交付金は、1人当たり月額10,000円に会派の人数を乗じた金額となり、年2回に分けて交付します。
- 交付金額に残額が生じたときは、市へ返還します。

笛新会

● 会派のメンバー 6名(8)

代表：海野利比古／保坂利定／神澤敏美／荻野謙一／神宮司正人／武川則幸

[活動内容]

- 静岡県島田市にて「国土強靱化地域計画について」の県外視察研修を行うと共に、専門書を購入し知識を習得した。また、会派・議会報告書を作成し、市内全域に新聞折込を行った。



島田市国土強靱化地域計画視察研修

(単位：円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
880,000	67,660	0	0	111,663	225,418	0	0	404,741	475,259

新風会

● 会派のメンバー 4名(0)

代表：落合俊美／岡 由子／河野正博／山田宏司

[活動内容]

- 新人4人で新しい会派、新風会を立ち上げ、自由に闊達な議論を積み重ね、ハートフルタウン笛吹実現を目指し活動している。新風会だよりを発行、市民の皆さんに活動報告を行った。



(単位：円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
160,000	0	0	0	0	176,704	0	0	176,704	0

誠和会

●会派のメンバー 2名(3)

代表:小林 始/中村正彦

[活動内容]

- 新聞購読により知識を習得すると共に、会派が行う活動や市政について住民に報告するための資料作成を行った。



境川町大坪地内浸水対策事業視察

(単位:円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
320,000	0	0	0	108,800	188,760	0	0	297,560	22,440

公明党

●会派のメンバー 2名(3)

代表:渡辺清美/中川秀哉

[活動内容]

- 議員活動や市民相談等に係る現地調査のため、最新の住宅地図を購入した。



「令和3年度笛吹市の予算編成に対する予算要望書」の提出

(単位:円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
320,000	0	0	0	29,150	0	0	0	29,150	290,850

笛政クラブ

●会派のメンバー 2名(2)

代表:前島敏彦/古屋始芳

[活動内容]

- 会派活動報告書を作成し、市内に新聞折込を行い、活動報告を行った。コロナ禍における会派での市の施策・計画についての会議等のため、新聞購読等により知識を習得した。



新道峠(FUJIYAMAツインテラス)視察

(単位:円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
240,000	0	0	86,800	13,440	125,839	0	0	226,079	13,921

日本共産党

●会派のメンバー 2名(2)

代表：渡辺正秀／河野智子

[活動内容]

- 議会報告を作成し、新聞折込やポスティング等により市政・議会の内容を市民に伝えた。



コロナ対策で医療関係者と懇談

(単位：円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
240,000	0	0	0	0	531,156	0	0	531,156	0

無会派

● 1名(1)

野澤今朝幸

[活動内容]

- 広く新聞・書籍を購入し、議員活動を行うための見聞を広めた。



(単位：円)

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合計	
120,000	0	0	0	121,777	0	0	0	121,777	0

【備考】

1. 令和2年度 (R2.4～R3.3まで) の交付金の使途を掲載しています。
2. 預金利子が発生した際は笛吹市の雑入として処理します。
3. 支出金額に充てられる額は交付金額までとなり、支出超過分は各会派の負担としています。
4. 詳細については、笛吹市情報公開条例に基づき閲覧することができます。
5. 11月の改選により各会派の人数に変動が生じています。人数の () 内の数字は4月～11月までの所属人数となります。

令和2年度議長交際費累計執行状況

議長交際費は、議会を代表して各種行事など対外的な活動をするために要する経費で、「笛吹市議会議長交際費支出基準」に基づき執行しています。

	弔 意		接 遇		合 計	
件数・金額	2件	10,000円	1件	19,712円	3件	29,712円

6月議会・会期日程

6月7日（月）

・議会運営委員会、全員協議会

6月14日（月）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案の説明

6月22日（火）

●本会議 質疑および一般質問、委員会付託

6月23日（水）

●本会議 質疑および一般質問

6月24日（木）～25日（金）

・各常任委員会

6月30日（水）

・議会運営委員会、全員協議会

●本会議（委員会審査報告・討論・採決）

・追加議案の説明・質疑・委員会（付託審査・審査報告）・討論・採決

■閉会

・追加議案の説明・質疑・委員会（付託審査・審査報告）・討論・採決

・追加議案の説明・質疑・委員会（付託審査・審査報告）・討論・採決

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

3月 March

2日 第1回定例会本会議（質疑及び代表質問）

3日 第1回定例会本会議（質疑及び一般質問・付託）

議会改革委員会

5日 常任委員会

8日 常任委員会、JAふえふき御坂統合共選所現地視察

12日 議会運営委員会、議会全員協議会

第1回定例会本会議（中日）、議会広報編集委員会

13日 御坂分団第20部詰所竣工式（八反田区、下黒駒区）

15～17日 常任委員会

22日 都市計画審議会

23日 議会運営委員会、議会全員協議会

第1回定例会本会議（最終日）

25日 釈迦堂遺跡博物館組合議会全員協議会、第1回定例会

26日 新道峠展望台愛称募集選考会

29日 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合議会（幹事会、全員協議会、定例会）

30日 牧之原市議会行政視察（受入）

峡東地域広域水道企業団議会（全員協議会・定例会）

4月 April

1日 笛吹市職員人事・辞令交付式

消防団入退団式、農業塾移転式

2日 議会広報編集委員会

3日 桃花と花火と太鼓の競艶

4日 御坂美和神社春の例大祭

9日 御坂統合共選所竣工式

13日 議会タブレット研究会、議会改革委員会

15日 おみゆきさん

17日 笛吹市体育祭り開会式

21日 山梨県市議会議長会（第265回定期総会）

22日 定例全員協議会

23日 新道峠・芦川指定管理施設現地視察（建設経済常任委員会）

28日 国際交流委員会

5月 May

9日 市長杯ソフトテニス大会

10日 タブレット端末研修、議会改革委員会

12日 笛吹市植樹祭

17日 笛吹市商工会要望書議会提出

18日 タブレット端末研修、広報編集委員会

21日 令和3年度リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会

24日 定例全員協議会、議会改革委員会、会派代表者会議

26日 商工会総代会

27日 リニア未来創造局・リニア未来推進課訪問

28日 山梨市正副議長挨拶

令和3年6月定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対 一棄権
(保坂利定議長を除く)

種別	案件名	笛新会			新風会			誠和会	公明党	笛政クラブ		日本共産党		無党派	結果					
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	岡由子	山田宏司	河野正博	小林始	中村正彦	渡辺清美		中川秀哉	前島敏彦	古屋始芳	渡辺正秀	河野智子
報告	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 令和2年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告 令和2年度水道事業会計繰越計算書の報告 令和2年度公共下水道事業会計繰越計算書の報告 令和2年度営春日居地区温泉給湯事業会計繰越計算書の報告 																			
専決処分※1	<ul style="list-style-type: none"> 税条例等の一部改正についての専決処分の承認 都市計画税条例の一部改正についての専決処分の承認 一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認 一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認 																			承認
条例制定改正	多目的芝生グラウンド整備基本計画検討委員会設置条例の制定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
	市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正																			
	地域公共交通会議設置条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	手数料条例の一部改正																			
	廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正																			
学童保育室条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	道路法施行条例及び笛吹市営自動車駐車場条例の一部改正																			
	市道の構造基準等を定める条例の一部改正																			
令和3年度補正予算	一般会計補正予算（第3号）																			
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）																			
	介護保険特別会計補正予算（第1号）																			
	水道事業会計補正予算（第1号）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公共下水道事業会計補正予算（第1号）																			
	一般会計補正予算（第4号）																			
その他	普通財産の譲与																			
	動産の取得（笛吹市行政バス2号車購入）																			
	動産の取得（ストレージ機器購入）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	動産の取得（御坂スクールバス購入）																			
	市道の廃止																			
人事	人権擁護委員の候補者の推薦	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任																			
	稲山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

用語解説 ※1 専決処分とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず自分で決めること。緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。

6月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、10人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



渡辺清美議員
(公明党)

問

気象防災アドバイザーの活用を

答

防災力向上に向け研究する

渡辺清美議員 気象防災アドバイザーは、地域の気象災害情報に詳しく、防災対策を支援する専門家が自治体をサポートする意義は大きい。

防災力を向上させる即戦力として、市の災害対応力を強化するため、気象防災アドバイザーの活用としてはどうか。

深澤総務部長 気象防災アドバイザーは、地域の自主防災組織や学校、福祉施設等の防災訓練や避難訓練に

出向き、気象情報や防災情報に関する講演や訓練の支援を行っている。災害時には気象台からの防災気象情報を読み解き、市の防災対応を支援している。市の防災力向上のため、活用に向け研究していきたい。

問 **結婚新生活支援事業は**

渡辺議員 結婚に伴う経済的負担を減らすため、新婚世帯に新生活の初期費用（特に新居の家賃と引っ越し費用）を支援するもの。年齢条件を39歳以下に緩和し、世帯年収も約540万円未満に拡大し、60万円を

答 **今後の検討課題とする**

雨宮市民環境部長 県内では蕪崎町が導入し、平均して年4〜5件程度の申請を予定している。

本市では独自支援策として「子育て世代住宅取得補助金」制度を設けており、新築住宅30万円、中古住宅25万円の補助を行っており、令和元年度に156件、2年度に163件の実績があった。結婚新生活支援事業は今後の検討課題だが、県が「都道府県主導型市町村連携コース」を導入した際には、少子化対策、移住定住対策等の一案として具体的に検討していく。





河野正博議員
(新風会)

問 市の文化財保護と活用は

答 確実に次代に継承する

河野正博議員 笛吹市は縄文・弥生時代の遺跡群や、数多くの歴史的文化財があり「甲斐の国千年の都」にふさわしい内容を誇っている。

- ①保護と活用、基本方針は。
- ②文化財保護施策と予算は。
- ③無形文化財保護の施策は。
- ④教育・観光産業等の横断的事業は。
- ⑤地域の文化財の啓蒙活動状況は。

赤尾教育部長

①適切な保存と学びの場や地域づくりに活用し、確実に次代に継承していく。

- ②専門家の助言指導や修繕費用の助成などに予算額1億6千万円余。
- ③補助金を交付し伝承活動を支援。
- ④文化財ガイドマップ作成、修学旅行の受け入れなどでPRしている。
- ⑤体験型メニューの実施や文化財を巡る散策用マップの配布など、地域文化財を知る取組を行う。

問 ICT教育の状況と課題は

河野議員

- ①義務教育に求めるもの。
- ②情報通信環境整備の進捗状況は。
- ③タブレット授業の進捗状況は。

- ④生徒の格差対策、個性喪失は。
- ⑤教師の授業準備負担対応策は。
- ⑥タブレット授業で期待できる点は。

答 知識や技能、思考力を育成

赤尾教育部長

①知識や技能、思考力を確実に育成し、情報活用能力を育む。

- ②校内無線LANは全小中学校において整備が完了した。
- ③教育内容や発達段階を考慮し、各学校の教育課程に応じて活用進める。
- ④学力向上支援スタッフなどを活用し、きめ細かに指導している。タブレットを目的に応じて適切に活用し、個性を育てていく。
- ⑤学習教材や授業案を教師間で共有し、授業準備の負担軽減を図る。
- ⑥動画や静止画による学習内容の理解の促進、習熟度に応じたデジタル教材の活用、インターネットでの調べ学習など、今まで以上に多様で深い学びの提供が期待できる。



野澤今朝幸議員
(無会派)

問 新道峠展望台への市営乗り合いバス運行は

答 送迎バスは利用期間に合わせて運行する

野澤今朝幸議員 新道峠に2つの展望台を整備し、新たな観光スポットとして7月下旬にオープンする。芦川町としても新道峠を新たな観光資源として売り出していきたいが、乗り合いバスの運行について質問する。

- ①バス運行のルートと通行時間はどうか。
- ②年間の運行期間、休業期間設定は。
- ③一般車両は水ヶ沢林道入口から先が乗り入れ禁止か。
- ④初夏から初秋の眺望の悪い時季の対応は。
- ⑤市の観光は宿泊観光に重きを置くが、市営乗り合いバス運行を宿泊に結び付ける考えは。

小宮山産業観光部長

①すずらんの里駐車場が発着場所。芦川農産物直売所「おごっそう家」、古民家藤原邸入口、すずらん群生地駐車場を経由し、展望台入口が終点。運行時間は午前9時から午後4時まで、平日は1時間おき、土日・祝日は30分おきに運行。運賃は今年度は無料。

②本年度は7月31日から11月28日まで、来年度は4月25日頃の通行止め



- 解除に合わせて運行を再開。
- ③林道は幅員が狭く送迎バスとのすれ違いも困難で、林道終点の駐車スペースが確保できないため、一般車両は乗り入れ禁止とする。
- ④送迎バス乗車前に「FUJIYAMA ツインテラス」からの眺望をリアルタイムで確認できるよう、バス発着場所のすずらんの里と「おごっそう家」にモニターを設置。
- ⑤送迎バスの乗車時間を利用し、映像で市の観光情報及び石和・春日居温泉郷のPRを行う予定。SNSで国内外に発信し、宿泊者を対象に早朝や夜間の特別ツアーを企画し、宿泊に結び付けたい。



落合俊美議員
(新風会)

問 新型コロナウイルス接種は

答 接種体制を強化し11月末完了

落合俊美議員 市民はワクチン接種に不安を感じている方が多いと聞く。

- ① ワクチン接種対象年齢と人数は。
- ② 1回・2回目接種後の副反応があったか、あった場合の対応は。
- ③ ワクチンが残った場合の対応は。
- ④ 65歳以上の接種終了予定は。
- ⑤ 64歳以下の接種予定はいつからか。
- ⑥ 市民の接種希望者の終了時期は、いつごろと見込んでいるか。

西海保健福祉部長 ① 12歳以上の市民で、人数は62、174人。

- ② 集団接種後の体調不良の方は1人、個別接種で帰宅後に体調不良で入院された方は5人。因果関係は不明。
- ③ 接種券のある医療従事者や入院患者に接種。廃棄がないよう対応。
- ④ 7月末までの接種完了に向け医師会の協力を得る中で全力で取り組む。
- ⑤ 65歳以上の接種完了後に開始できるように準備を進める。
- ⑥ 接種体制を強化し、11月末の完了を目指す。



問 消防団員の確保と組織再編は

落合議員 消防団に対する市民の期待は大きくなってきているが、団員確保に苦勞しているのが現状だ。

- ① 合併後の部の統合は。
- ② 地域防災、消防団の役割評価は。
- ③ 人口減少や流出に伴う、団員確保対策は。
- ④ 部の統合、組織再編の基本方針は。

答 消防団の在り方と活動内容検討

深澤総務部長 ① 合併時95部あったが、現在は77部。

- ② 火災の消火活動、避難誘導、危険排除や救助活動など、非常に重要な役割を担っており、地域活動維持に欠かせない存在。
- ③ 消防団サポート事業の実施や、退団者を消防協会協力団員に任命している。
- ④ 団員報酬、活動に伴う費用弁償、団員数、部の統廃合、消防団の活動内容等の見直しについて検討する。



山田宏司議員
(新風会)

問 景観と特定外来生物は

答 市民と協力し繁殖を抑制

山田宏司議員 特定外来種は固有の動植物の生態系に影響が危惧される。

- ① オオキンケイギクを含む特定外来動植物の把握は。
- ② 繁殖させないための駆除対策は。
- ③ 市独自の規制は。

雨宮市民環境部長

① オオキンケイギクは河川沿いに群生が見られ、笛吹川から離れるにつれ数が減少。アライグマは市内全域に分布、41頭の捕獲実績。アレチウリ・オオブタクサ・セイタカアワダチソウなど多い。

- ② 河川及び道路管理者が定期的に刈り払い作業。市では広報紙などで駆除方法を周知。アライグマは捕獲檻で捕獲・駆除。
- ③ 市町村を超えた広範囲の対応が必要。県と連携し外来生物被害予防3原則「入れない」「捨てない」「拡げない」を基本に、行政と市民が協力し繁殖を抑え込みたい。

問 観光都市笛吹の未来のために

山田議員 新型コロナウイルス蔓延で市の観光・産業は非常に苦しい。

答 観光客ニーズを把握し考察

小宮山産業観光部長 幅広い観光資源の活用と、さまざまなイベントを実施し、年間を通して観光の目的地として訪れていただけのような取り組みんでいる。旅行形態も団体から個人へと変化中、観光客のニーズを的確に把握し、観光の在り方について考察する必要がある。

市の観光振興推進のため、観光協会・旅館組合・商工会・JAふえふきなどの関係機関との連携強化が必要で、より効果的、効率的な体制の在り方を検討していきたい。





岡 由子議員
(新風会)

問 高齢者・障がい者の
ゴミ出し支援は

答 必要な支援に
つなげていきたい

岡由子議員 市の高齢化率は29・3%と全国平均より早いペースだ。高齢者・障害者のゴミ出し支援の検討は。

- ①ゴミ出し支援の推進は。
- ②ごみ集積所の利用状況調査と、統廃合を検討する考えは。

西海保健福祉部長 ①生活支援コーディネーターや関係団体の代表者で構成する「支え合う地域づくり会議」で情報交換し、ごみ出しの支援方法など検討。庁内関係課とも連携し、必要な支援につなげていきたい。

②市内のゴミ集積所は合計で1、522か所、各行政区の環境指導員を中心に、適切に管理されている。統廃合を含む見直しは、市全体の総合的な検討が必要。収集運搬に要する時間や経費等、あらゆる角度から検討が必要で、慎重に研究すべきと考えている。



問 ヤングケアラーの支援は

岡議員 コロナ禍で表面化した新たな問題に取り組む必要がある。

- ①早期発見に向け、ヤングケアラーに関する研修や学ぶ機会の推進は。
- ②支援ニーズの把握と説明のため、調査する必要がある。見解は。

答 教職員間で
課題や対応を共有

西海保健福祉部長 ①県教育委員会は生徒指導担当者を対象に、ヤングケアラーの情報共有を図る研修会を開催した。理解を深め、教職員間で課題や対応等を共有している。児童福祉、保健医療、教育等の関係者で構成する要保護児童対策地域協議会などで研修会等を開催していく。

②潜在化しやすい本事業の早期発見や支援ニーズの解明には、実態把握の調査は有効な手段の一つ。調査方法など含め、関係機関と連携し対応を検討していく。



渡辺正秀議員
(日本共産党)

問 コロナ対策、市独自の対策と
国への働きかけは

答 確実な供給や財源確保を要望

渡辺正秀議員 ①国は適切に対応しているというが、市の見解は。

- ②ワクチン接種で国に善処を求める考えはないか。
- ③ワクチン接種の現状と今後の見通し、医療機関での予約の仕組みづくりの推進は。
- ④働き盛りや若い世代に、事業所・学校での接種が必要、市の対策は。
- ⑤PCR検査拡充が必要、現状は。

西海保健福祉部長 ①接種が確実に加速しており、適切な対応と考える。

- ②ワクチンの確実な供給や財源の確保を、引き続き県を通じて要望していく。
- ③医師会の全面協力で、集団接種を笛吹中央病院で5月9日から実施。個別接種も5か所の病院、21か所の診療所で実施。64歳以下の接種も医師会と連携、接種体制を構築し実施。病院等での予約は混乱が懸念されるため、コールセンターでの電話及びインターネットによる予約を継続
- ④県の新型コロナウイルス感染症関係総合対策本部を紹介している。
- ⑤県の動向を注視、検査対象の拡充

は検討。

問 新規就農・農業後継者
支援制度の拡充を

- 渡辺議員** ①新規就農・農業後継者支援制度の評価は。
- ②県の親元就農支援制度の概要は。
 - ③対象年齢と支援金額の引き上げは。
 - ④農業後継者確保目標と取組は。

答 支援体制を充実し
就農者確保

小宮山産業観光部長 ①72人の農業後継者支援のうち、69人が農業に従事、支援の効果は大きいと考える。

- ②農業経営体に就農した50歳未満の新規就農者を支援、100万円を1回に限り交付。
- ③それぞれの制度の趣旨に基づき十分に検討する必要がある。
- ④目標は年間20人、関係機関と連携し支援体制を充実。





河野智子議員
(日本共産党)

問 子育て世帯に給食費無料支援を

答 現時点で無償化の考えはない

河野智子議員 ①小中学校給食費無料の場合の必要予算額は。

- ②保育所等の主食・副食費予算額は。
- ③小中・保育所給食費無償の考えは。
- ④3・4・5歳児の主食提供実施は。
- ⑤給食費免除の準要保護世帯数は。
- ⑥就学援助の対象を広げる考えは。

赤尾教育部長

- ①約3億2千万円。
- ②主食費は年間850万円、副食費は約5、260万円、幼稚園は351万円。援助した場合の予算額は6、461万円。
- ③現時点で無償化の考えはない。
- ④令和4年4月実施に向け準備。
- ⑤今年度は459世帯で、昨年度より減少。
- ⑥国の基準で定めており、現時点では拡充は考えていない。

問 幹部職員の登用は

河野議員 ①一人の職員に過重負担になっていた場合の対策は。

②コロナ対策に対応する職員の体制は十分か。管理職の勤務時間、職務負担を把握し対策を取っているか。

③部長・課長職に占める女性の割合、昇格基準、目標値30%に向けた取り組みは。

答 女性管理職の割合は28・4%

深澤総務部長 ①今年度、現状の業務内容等を検証し、より適切な組織体制の構築を目指して、保健福祉部全体の組織見直しを進めている

- ②市長から全庁体制での事業実施が指示されている。人事異動で1人増員、事務量増加で3人を増員した。業務内容は民間業者への委託で職員負担軽減を図り、円滑な事務の執行に努めていく。
- ③部長職なし。課長職5人。部長職・課長職に占める女性の割合は、10・4%。数値目標は、主幹も含めた女性管理職の数を指標としており、令和3年度現在、女性管理職の割合は28・4%。部長昇格は、市長が課長職の中から勤務成績等を勘案して決定している。性別にとらわれない職員採用や、管理職への登用を推進する。



武川則幸議員
(日本共産党)

問 優良農地の保全、耕作放棄地の有効活用は

答 遊休農地解消支援事業を推進

武川則幸議員 農地の保全と活用を図っているが、次の点について質問する。

- ①市内の農家数、経営耕地面積の推移は。
- ②農業塾の実施内容および参加者の状況は。
- ③耕作放棄地の営農希望者への斡旋状況は。
- ④市民農園の概要等は。

小宮山産業観光部長

①平成27年と令和2年の農林業センサス比較で、農家数は4、060戸から3、612戸、経営耕地面積は2、552haから2、366haと農家数、経営耕地面積ともに5年間で1割近く減少。

- ②援農希望者、後継者不在で経営が心配な高齢農家、新たに農業を始めたい就農希望者、規模を拡大したい農業経営者からの相談に応じ、果樹の栽培技術の講習会を開催。
- ③県の農地中間管理機構が借り受けた農地を整備する機構借受農地整備事業や、市単独事業である遊休農地解消支援事業で、耕作放棄地の復旧

問 災害発生時「要配慮者」の個別計画策定は

答 実態把握し個別計画策定

西海保健福祉部長

①自ら避難することが困難で、安否確認、避難者誘導支援、情報伝達などについて真に支援が必要な方を対象として見直しをおこなった。

- ②家族構成や自宅内の部屋、避難場所等の項目を追加し、円滑な避難に有効な「個別計画」策定に取り組む。



中川秀哉議員
(公明党)

問 コロナ禍で社会的孤立から安全
安心を守る行政サービスと

答 自立に向けた相談支援と
食糧支援を実施

中川秀哉議員 孤立対策は地域共生

社会づくりの考えで、誰も孤立させない、ひとりぼっちをつくらぬという、支えあう社会の構築の実現を求めらる。

① 単身世帯、高齢者単身世帯、一人親世帯の構成推移は。

② 緊急小口資金、総合支援貸付金、特例再貸付までの延べ件数と状況は。

③ 生活保護移行を食い止める支援は。

④ 関係機関と事業連携する考えは。

⑤ コロナ鬱など健康被害相談件数は。

⑥ 市の自殺対策の取り組みは。

⑦ 心のサポーター養成事業の普及啓発は。

西海保健福祉部長 ①平成28年度末と令和2年度末比較で、単身世帯の増減の件数と割合は1、258件、13・3%の増、65歳以上の高齢者単身世帯は344件、7・9%の増、ひとり親世帯は児童扶養手当の認定を受けている世帯で89件、13・5%の減。

②特例貸付に伴う緊急小口資金からの利用状況は、申込延べ件数2、579件、総貸付金額は9億6、

698万円。

③生活保護課内に自立相談支援窓口を開設し、支援員が自立に向けた支援を行っている。

④社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会と連携し、見守り・発見・つなぎ役などの支援活動に取り組んでいる。社会的孤立の防止、生活困窮の相談支援に向け、必要に応じて関係機関と連携を図り取り組んでいく。

⑤コロナ鬱など健康被害の直接的な相談はないが、思うように外出できないストレスを訴える人と、外出することが怖いと言って、定期的な受診も控えてしまう、という人が数人いた。

⑥笛吹市自殺対策計画を策定し、自殺対策の取組を進めている。また、市民、民生委員・児童委員および職員を対象に「心の健康相談」「ゲートキーパー養成講座」「自殺予防の講習会」を開催、自殺対策への意識の高揚に取り組んでいる。

⑦福祉、教育に携わる関係機関と連携しながら普及啓発に取り組む。

人事

人権擁護委員の候補者の推薦

橋田 良也 (石和町市部) 再任
藤原 武男 (石和町唐柏) 新任
任期 令和3年10月1日から3年間

大積寺山恩賜県有財産保護
財産区管理会委員の選任

村松 光治 (一宮町狐新居)

稲山恩賜県有財産保護
財産区管理会委員の選任

根津 繁 (八代町米倉)



議会だより66号訂正

議会だより66号の記事に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

誤

正

P 5	令和3年度一般会計予算 総額355億5551万円を可決	令和3年度一般会計予算 総額355億5511万円を可決
P 5	令和2年度予算 おもな使い道	令和3年度予算 おもな使い道
P11	教育員会教育長の任命	教育委員会教育長の任命
P11	黒駒山恩賜県有財産保護財産区	黒駒山恩賜県有財産保護財産区

タブレット端末研修会

市議会では、ICT機器の活用による、議会活動の活性化を目指し、タブレット端末を使用した議会運営、ペーパーレス会議システムの導入を検討しています。

また市議会ではタブレット端末を導入した場合の運用基準・使用基準などを検討するため、タブレット端末研究会を立ち上げ、令和3年5月10日および5月18日に研修会を実施しました。



議員表彰

4月21日に開催された第265回山梨県市議会議長会定期総会において、笛吹市議会議長の職を平成30年11月15日から令和2年11月13日まで務められた中村正彦議員が地方自治の振興と発展にご尽力された功績により、一般表彰を受賞されました。6月14日本会議の議場にて表彰の伝達式を行いました。



総務常任委員会

6月24日、25日の2日間、委員会を開催。付託された令和3年度一般会計補正予算、条例の制定1件、条例の一部改正3件、普通財産の譲与1件、動産の取得3件の計9件を審査し原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

委員長	神宮司正人	副委員長	河野 正博
委員	神澤 敏美	荻野 謙一	
	中川 秀哉	渡辺 正秀	

〈総務部所管〉

Q 富士見小学校災害用マシンのホールトイレ付属品整備の内容説明を求める。

A 災害時の指定避難所において使用するトイレを、下水道課が体育館北側に6区画整備するが、その備品としての便座や便座を囲うためのトイレハウス、発電機等、これらの備品を保管するための倉庫を購入するものである。

Q 境川支所ほか擁壁改修調査業務委託の概略について説明を求める。

A 境川支所および旧境川支所の擁壁は、高さが最も高い所で5mから6m、全長約430mあるが、多数のクラック等が認められたため、基準点測量を12カ所、現地測量18、000㎡、ボーリング調査を5カ所行い、改修工事の工法等を探るための調査委託である。

〈総合政策部所管〉

Q ふるさと納税を利用した石和温泉花火大会などの、ふるさと納税版クラウドファンディング寄附金について、ふるさと納税の仕組み

で、ふるさと納税の仕組みを利用した目的および意図は何か。

A 新型コロナウイルスの影響で、花火大会における協賛金の減少が見込まれるが、返礼品および税額控除の面で寄附者にメリットのある「ふるさと納税」の仕組みを活用することで、増額につながることを期待した。

Q ウェブ会議用タブレットの賃借料について、タブレットを追加する理由、また、他の端末との共用ができないか。

A 新型コロナウイルスの影響で、昨年度は中止や延期となった会議等が、本年度はウェブで開催されるようになり、利用機会が増えたことから、現在の5台では不足しているため、タブレットを3台追加し、合計8台で運用していく。また、他の端末との共用は業務に支障が出るおそれがあること、機器の管理の性質上ふさわしくないことから専用機を整備する必要がある。

〈市民環境部所管〉

Q マイナンバーカードの再交付手数料について委託料が市に入るのか。

A 実施主体である地方公共団体情報システム機構は、

都道府県および市町村が共同で運営する組織であるため、委託料は無償となる予定。



境川支所ほか擁壁改修調査業務委託視察

定。ただし、当該手数料徴収事務に要する経費は、普通交付税または国庫補助金が交付されると思われるが、詳細が示されるのは8月になる予定。

教育厚生常任委員会

委員長	武川 則幸	副委員長	河野 智子
委員	保坂 利定	古屋 始芳	
	野澤今朝幸	渡辺 清美	

6月24日、25日の2日間、委員会を開催。付託された令和3年度一般会計補正予算、条例の一部改正3件、特別会計補正予算2件の計6件を審査し原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

〈保健福祉部所管〉

Q 新型コロナウイルス感染症予防接種事業の委託料、集団接種関連事業委託の減額の根拠は何か。

A 令和3年度当初予算に計上していたワクチン接種経費を、令和2年度に執行する必要が生じ、補正予算を編成して対応したため、当初予算分をすべて減額した上で、新たに64歳以下のワクチン接種等に必要な経費を追加計上したものであり、追加計上分より減額分が大きかったため、トータルでは減額となったものがある。

てその差額分を補填する。改定によって混乱が生じないよう商工会と連携することとはもちろん、小売店が余分な在庫を抱えないよう、販売枚数を把握・調整するよう指導していく。また料金改定に伴う補填は、改定実施後から1、2カ月で清算していく。

〈教育委員会所管〉

Q 文化振興事業のコミュニケーション助成事業助成金について、11月に舞台の芸術鑑賞を実施するとの説明だが、舞台の芸術鑑賞を行う上でコロナ対策について詳細な説明を求める。

A 中止になるという可能性も含めながら、学校で舞台鑑賞を行う場合には、学校施設開放の時と同様に実際に収容可能な人数を半分にし、1人当たりの面積を制限している。また、市民を対象にスコレーセンターで実施する場合にも、社会教育施設の一部であるため、しっかりとした対応を考えている。

〈市民環境部所管〉

Q 有料指定ごみ袋の価格改正により、基準日以前、すでに小売店に流通している分、ごみ袋手数料の補填方法について、説明を求めらる。

A ごみ袋の販売は、笛吹市商工会に委託している。小売店が商工会から現行の金額で仕入れ、新しい金額で売ると小売店に損出が生ずるので、商工会を通して



委員会審査の様子

建設経済常任委員会

委員長	小林 始	副委員長	山田 宏司
委員	岡 由子	落合 俊美	
	中村 正彦	海野利比古	
	前島 敏彦		

6月24日、25日の2日間、委員会を開催。付託された令和3年度一般会計補正予算、条例の一部改正2件、事業会計補正予算2件、市道の廃止1件の計6件を審査し原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

〈建設部所管〉

Q 土木費、道路維持管理費、道路維持管理事業の工事概要について、詳しい説明を求めらる。

A 労報橋関連の道路整備において、市道1の8号線の関連道路に石和北小の児童の安全対策、石和温泉駅から石和温泉街へ繋がる道路の安全対策のため、横断歩道や歩行者の滞留所を整備するもの。

Q 横断歩道等整備について県警との連携は。

A 新規に道路整備する場合には、県警の交通規制課の指導を受けながら道路管理者が整備をする。

〈産業観光部所管〉

Q 観光イベント事業費のプロジェクトマネジメント費用・運営業務委託について、詳しい説明を求めらる。

A N T Tの建物の壁面を利用して映像を流し、内容もたちの作品を使用することなどを検討している。期間・時間帯を決めて事業を展開していく。

Q 近くには病院があり、入院・リハビリ等で利用する方々もいるので、音などの対応は。

A 市の条例等の基準以内で運用していく予定である。

〔意見〕

隣接地域には十分配慮して進めてもらいたい。

〈公営企業部所管〉

Q 水道事業費用、営業費用、原水および浄水費について、購入する薬品の説明を求めらる。

A 薬品については、臭気を取り除くための活性炭の購入費用である。滅菌の塩素については、搬入およびタンクへの注入を業者が行い、適宜職員も立ち合い等を行っているが、今回の広瀬ダム水による臭気の対応は、活性炭の搬入および注入はすべて職員が対応した。

Q 委託料の内容は。

A 月2回の水質検査を行うための委託料。



境川町大坪地内浸水対策事業視察

市民の皆さまからの 政策提案、ご意見を 募集します



新型コロナウイルス感染症の蔓延により、大人数を集めての集会等はできない状況にあります。そのため、本年の議会報告会は、例年行ってきた形の開催ではなく、市民の皆さまの声を市議会にお寄せいただき、そのご意見を市議会を確認する事で、市民の政策提案の機会として、市議会の立場から市政に反映させていきたいと思えます。

-  市議会への政策提案、ご意見をお寄せください。
政策提案、ご意見等がありましたら次ページに記入のうえ、受付期間内に提出をお願いします。
-  提出方法
提案用紙の持参・郵送またはFAX、メールでの提出も受け付けます。
-  受付期間
令和3年8月2日(月)～令和3年10月29日(金)まで

いただいたご意見等は、笛吹市ホームページおよび議会だよりに掲載予定です。

〈提出先・問合せ〉

〒406-8555

笛吹市八代町南917番地 笛吹市役所議会事務局

TEL 055-265-2112 FAX 055-265-1101

 gikai-jimu@city.fuefuki.lg.jp

※笛吹市役所本館・保健福祉館・市民窓口館総合案内または各支所での提出も受け付けます。

※次ページに記入のうえ、キリトリ線から切り離してご提出ください。

請願審査

令和3年2月議会提出

令和3年請願第1号

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願書

令和3年2月議会に提出され、継続審査となった日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願については、請願内容について、なお調査研究する必要があるため、継続審査となりました。

令和3年6月議会提出

令和3年請願第2号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

教職員数の適正化や教育関係予算の拡充は重要な課題であるが、国や県でも少人数学級に関する政策が進んでおり、請願内容について、なお調査研究する必要があるため、継続審査となりました。

令和3年6月議会提出

令和3年請願第3号

(加齢性)難聴者の補聴器購入に関わる負担軽減を求める請願書

難聴者の負担軽減については、総合的な支援についてより幅広く検討していく事が重要であり、請願内容について、なお調査研究する必要があるため、継続審査となりました。

9月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しています。参考にご覧ください。

令和3年第3回定例会本会議の日程（予定）

- 9月 10日（金） 13：30～ 開会（初日）市長行政報告・提出議案説明・決算審査報告
- 21日（火） 10：00～ 質疑及び代表質問
- 22日（水） 10：00～ 質疑及び一般質問・付託
- 24日（金） 10：00～ 質疑及び一般質問（予備日）
- 10月 5日（火） 15：00～ 閉会（最終日）委員会審査報告・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴席（定員42名）を約半数にさせていただいております。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。



想うこと



八代町南
中込さよ子

けむる山並みの景色に癒やされている日々です。

議会を「ある月」に傍聴いたしました。議員さん方の活動、働きを聴き、知ることができました。機会を作り、また傍聴したいと思います。

老いてからの移りなので、ちよつとした交通の不便さを感じております。早いうちに車を手放し、免許証も返納いたしました。まだまだ市内の美しい所をドライブも楽しいだろうと、ちよつぱり残念にも思っております。

この美しい自然が変わらぬことを願って。

八代に移り半年、朝、雨にけむり輪郭しか見えない山並みに、晴れたら地元の樹齢百年という大ケヤキのウロを見に、みどり一面になったブドウ、モモ、スモモ、カキなど、日に日に変化していく果樹畑の脇に、家々の庭先に咲く花々の移り変わりを「朝歩き」したいと思いつつ窓越しに一日、

芸術文化の拠点

「青楓美術館」



一宮町本都塚
相澤なぎさ

青楓美術館は日本農業遺産の一角、葡萄畑の中にある今話題の昭和モダンの建築様式的美術館です。

地元出身の小池唯則氏が、故郷に

「文化を通して人々の心のよりどころとなる施設を」との思いで私財を投じ、近代画壇を牽引した多才な芸術家・津田青楓作品を展示する美術館を設立されました。

展示活動のほかにも、小学校の授業の場として、また市民ギャラリーを通して美術館、市民との交流の場として多くの人々に利用され、芸術普及発信の拠点となっています。

これからも、市民の心のよりどころとして充実・発展を願っています。

表紙説明

社会科見学で議場を訪れ、議会の役割を学ぶ児童たち

(八代小学校2年生)

撮影場所

笛吹市議会議事堂議場

編集後記

「どの子にも涼しく風の吹く日かな」夏を代表する一句であり、飯田龍太先生の代表作十句を挙げる時には、必ず入る名作です。(笛吹市境川町出身) 大変暑い時季となりました。農家の皆さまには農作物の収穫で忙しい日々を過ごしていると思います。

さて、議会では本来市民の皆さまとふれあい、政策の提言、ご意見をお伺いすべきですが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、本年度は大人数での集会ができませんので、今回は議会広報の中にページを設けました。

多くの皆さまからのご提言、ご意見をいただければと思います。また、HPからチラシをダウンロードできますので、ご利用ください。

新型コロナウイルス感染症により、議員活動が思うようにできていません。経済も大変な状況です。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう、心から願っております。

議会広報編集委員会

委員 落合 俊美